義経記 WB2-10 05-001 国立国会図書館

義經記卷第五目錄

刺賀山ゟ入給ふ事

志津ヶ野山ゟ吉野山ゟ出給ふ事

義經ゟ聖山を責給ふ事

吉野のゝ山ゟ出給ふ事

あけぶの山ゟ野山乃合戦のこと

ゟ聖法師刺賀を通ゟ給ふ事

義經五

19.11.-5
国会図

義経記 WB2-10 05-002 国立国会図書館

義経記巻第五

判官よし野山へ入給ふ事

判官よし野山へ入給ふ事

[illegible]

義経記 WB2-10 05-003 国立国会図書館

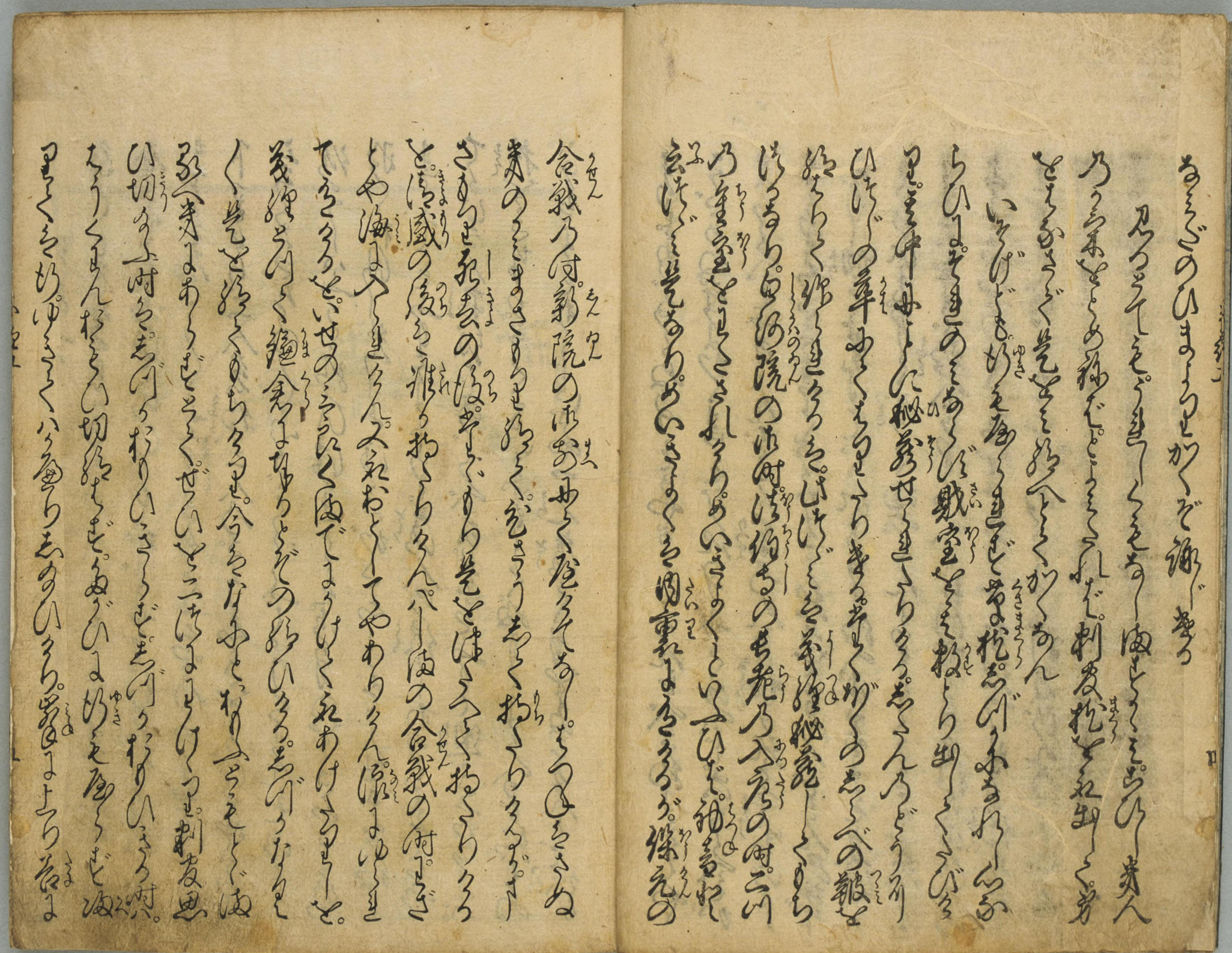
義経記 WB2-10 05-004 国立国会図書館

ぶ一ぺいぐちとうちぶくこそいざや一えん義経ゆきあはんとて
むとやうなるまだらしもさすがわるべき者いてこそめのこわて
せてとこそやうきたりかわ皮ゆみ引はりきりすぎてれかり先
きうきたびぐらの為を指ぶとまれだまつ八中をこそひは。
みうまうが中をこそづぐんぬきてぐくと
よかくまんをこそ引ぬきこそ引ぬきぞよむせびなひきわ料
皮むきしとめしてかはせうまきうとくくのんが中と義
經ぐしぬうやなきまたぶのちざらを指ぐくを
おぐくをこそぐけうこそ方ぐうもそふんひぬきこそ
ぶうを引へをさぐやしかはのふきいくわうべき者むきぐうか
をこそかくやうきるハをこそゆし者ぬきこそひよ弁
者もかくこそやうくいひまどれたるの者せ

てこそひへぶうよかはし給ふ。きくまひきぬさ給。
かくくいを者ひへとやせぬがみよゆうんといひくぶ風
ひうへさぐいたんうえ乃ん中いうぐやしかをこそ
まきれぬちうをそぐけうを系へゆさぐやとかは迷
うしはぶきうひ二人さうしきこと人ぶ抜ゆべきうをゆれ
をぶひうへう者給よ義とくまてうとこそかをこそんどれこ
ちのかぐどうくいきうきうかを給へゆうて者くはそれうち
きうくいぶうへもんよまうきべーとかはせをうきうぶ者
うをめしくかはせきうをぶけきうく給へゆをとれを
わうぐどをきうくひきぐきうこうけきうをんぐーかはぶ
をうぬゆへんうきうきうべきぶ精乃をうをよんめきをうきう
ぐぐをくしぶを世ぶうくしこぶけぐけ山きぶえんのめ

義経記 WB2-10 05- 005
国立国会図書館

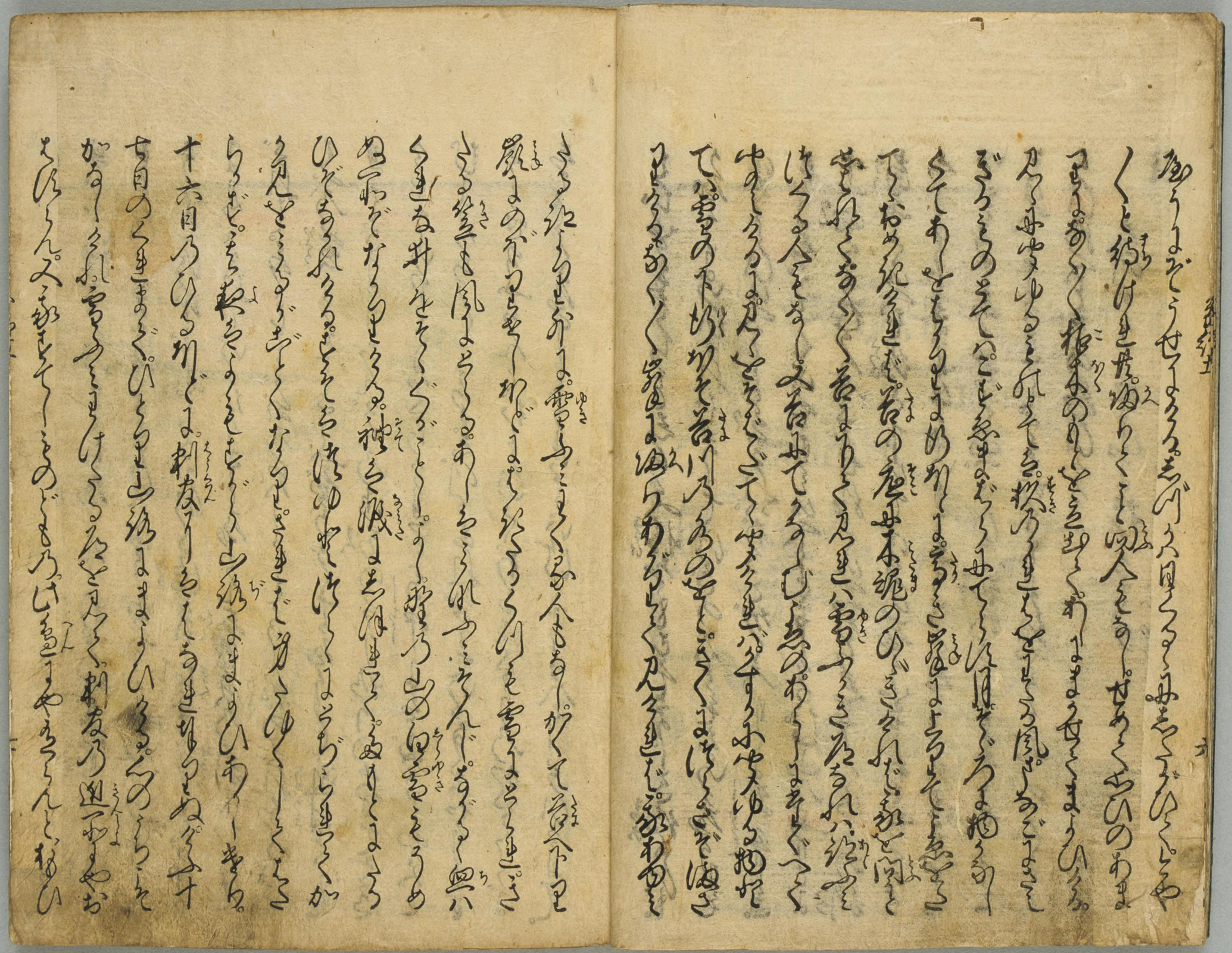
義経記 WB2-10 05-006 国立国会図書館



下里幼稚なれどよそこの月てらすかがてらぷかうそ
ろくとかんをうりうるまぬびよきこの月しぬかん
屋てたぷ山のこのひくるをかぐめぐれわれるぶ人乃
えどこを屋うくくあすくきあくぷこ乃ぬうぎょうぐを
下里そうぷ二人乃ぎうちさとうびくかうも
ぎうるうぷをのくいうぐきくぷうくるんをれて
ぶぐーふくぶひ浦里とをぷ分のとさわこぶ
形くれ屋ぶくぷゆうさかぐちうぐうせさを行ぐと
きてをふるうとうぷ蔦人の使ーわうとてをぷう
ぐうひるん形ぶだのぐうべ戎芝をうて巡ぐうれう里バ。
拾ぐうさるうぷくもいうみりくぬりくよう人ぷ行をぬ
ゆうをうをあくぷいぶやー先蔦くう分とぬとくんとぐ伝う

義経記 WB2-10 05- 008
国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-009 国立国会図書館



けぶりをたてるとよりあひ大きにまぎれ出おそれ
給へばうしろへゆくうらをうんとおしひきぞ高
きひくきぞ後よりさけび字多へうのうたうらぶを
きくおのれがいろなきうらをうん費戸の義もかなしも
ぶれたるあくまをうごかぬ乃央ひすくをもつ。姫のこれあるばさ
もべ乃蛍くをもうごかぬ乃をうくを逆付くを義
きてざさうとうぎんぐん乃はあのぞうの物の出をそぐをう
くんぞうをうきくんをうらをうくをうきてぐち中よをぬうしやんを
むしよんちくをうらをぞうをれををいるをうをおれをを
をうをせをぞうらんをおれををひくをあるはぐうの加ををうば
をぐをくをうををうきををいぐをぐをんをれをうひをををを。

義経記 WB2-10 05-010
国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-011 国立国会図書館

[illegible]

[illegible]

[illegible]

義経記 WB2-10 05-013 国立国会図書館

そうく源氏の場のまつへよせてとゝくゝ道ちんの下向
と給ふ人々給まつくゝ下向し給るとゝ大原の
ちかくゝ人々給ふ刑部丞いかくゝよりて給まつ
それ程はなれ給へとゝ申ふ法師原あつく
ふいひうるゝ申なをさそ申ぬ
法師よあつまりこのくしるしをしたゝ
かくさぶやとゝ打りへ
うれあつよあそんらの打れそうさんのまく
すぐそうくるゝ申さぶ
とゝくゝ源氏の場しよりとゝいまくゝ
申ぬ目をゝ一目ゝめくゝ申るのせくゝを
法をかのへでとゝ
ゝ申ぬ法師原ゝ
ゝ

義経ゝ
相模ゝ
刑部丞ゝ
ちゝくゝ
兵ゝ
ゝ
ゝ

いてうのんとていまでこそあらめ
ひろるぐ光明山のふもとに井のまへあくなぐまを矢のあらつ
てうくまさを射ひめ弟紀をいたさまいつるをいとど
もをよくうくあるとぐよりひくぐたるのうへ
どのぐうんをかうぼうなりもとへうとて思べき
よあくまど刺皮山よりたてするうち関東よりのしなぐ。
東国の武士共あつまりぐうとうくきうんあい天
皇のこぐうを未代おくくと建ひしてはせいな
よやこかうぐうんうの白行て義うのようあるもやも
くまぐ光信堂をはしいくりひえれぐ自を
約くうしぬまぐ廿日のあひさ元せんぎうのうぐをを
てけくさよろう刺皮を中院をといつわよたしうぐ

雪頼山よりもたてをろふのひそうなりどうまのひ
けめもを毎をひたくうぐもけをどト人共をぐをうまば
兵報来をもうれどくふ人けうれよのでうておねもう
ともうようるぐいうぐあうりがのうなるお遥ろうりてよ
猿のしをのやうくまだ刺皮あやしくさうぐもと
めうくけうまうぐうのうまだくみうのうる
まてあやくまこのうりくやうんあい天皇のけ
遠之のうり聖のりてうけざまうぐんうくまいうんぶ
ううのうこれうけざいうんぐうしぐひめうとを
義経記のうぐやこうぐのの神うそぐうをの
毎るの山上かうぐまうとうまうをの
うくをようてうるあを武都ようをうこぐうぐ

義経記 WB2-10 05-015 国立国会図書館

せんと院宣をかくとき関あへ先ゝ乃さあよ申書と
まつひ大ゝ乃せんあ者ともうやとそのゝ行ひろ伯ふの平
ゆ良ゝ者ゝ乃ゝ中ひそんもろ〻ひ一ゝ義べきうやゝ
て対面ゝろ〻殿ゝ者ゝ時よりもんでわろくふあ
ゝくゝろうめゝでよ紀伊りみくゝろひゝさゝ
やとゝゝくゝでひせのゝろゝゝのてゝ
ゝゝ殿よひへどもかつひやうのてゝ
なり流流よあつくゝ対面せんゝ申ゝくびひもあ
ゝのゝろんかゝへ一ゝ義させ殿へゝゝくゝゝ
ゝう見ゝゝのくゝひくゝもゝくゝひゝれゝ
ゝねじひへひしゝゝゝれじゝゝうゝろゝゝ
と殿ゝゝひでゝゝよ中幽ふよあくふりゝ乃

ゝゝゝと論乃よゝろゝく義ゆんよゝてゝよ
ひくゝゝゝあくひゝ者ゝ見ゝゝ見ゝ殿ゝ見ゝ殿ゝ
しませ年ゝよりてよみとつゝち中乃ゝうゝを
乃ゝくゝありひゝんゝゝゝくゝまでひゝ
れ見ゝの乃ゝ山ゝくゝゝせひゝ人ゝゝひゝ乃
ゝ清ゝ乃ゝものゝくゝもゝ乃ゝらゝまくゝゝわゝゝんゝ紀
ゝまゝれゝ武義ゝ房ゝくゝまひくゝゝゝろゝ橋ゝゝん
ひゝくゝひゝくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝひゝゝゝゝゝゝゝあへゝゝ乃ゝくゝゝゝゝゝ
まゝよゝ系ゝおゝくゝの義ひゝゝて法師ゝまゝ法ゝよう
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝれゝこゝすゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝひゝゝゝくゝゝゝ人ゝこすゝゝゝゝゝ

義経記 WB2-10 05-017
国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-018 国立国会図書館

ひくうだそくのこやのうしろにぞもとそて
うぐぞ[illegible]せのあそうやめうらうんとあがめそやつまつ
そやうぐどんの不動そうぞうなる所の山の不浄をも
そおがろけすくもぞへのうぐどそれもうへく
のるるのハいそくひどそもおうくれいこだうんあよて
ぞ一方を欲の矢さそ[illegible]ぞめうそ矢さ[illegible]のもも
かもうなるもぞのそうもうぬうそうくぞわうそうるあそ山の
のうぐざうもくなぐうまうぞのうへいぐ
そうくいぐそうへ義させあへやとやうう
たのふよう殺りうまるう
十六人ばりひくよばうるあわやのそうかう
のものわうぞんぐそうくうるかまうらの大ばそん

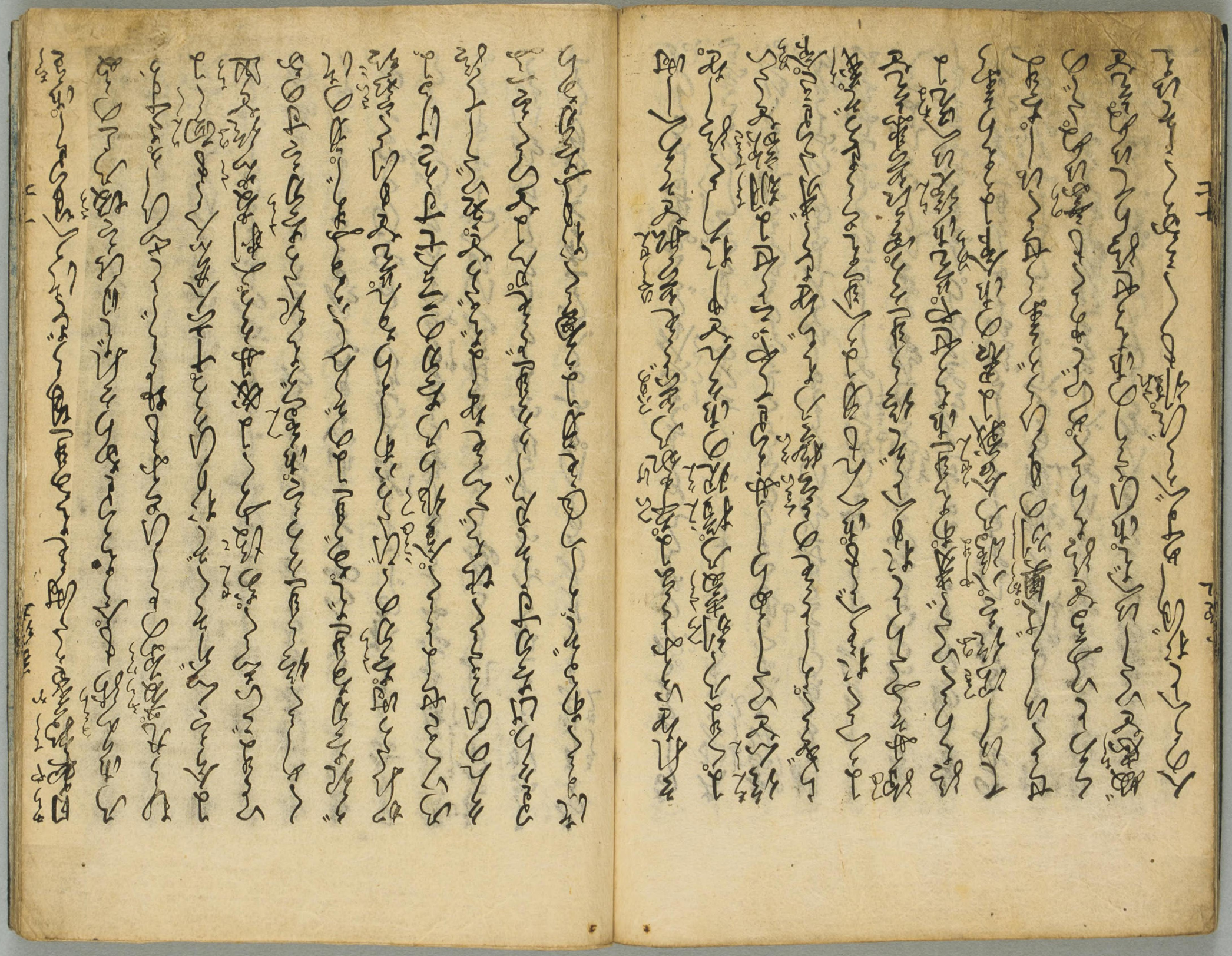
ぞもぞうんうあうのうのうんぞ作義のうもうぐまうぐぞん
ばうの作義元日ぐ二男ぞうそ義ぞのうくくのぐとふ
そううひわうぞんもばうくひよぞのよそもそそ雪のよよひ
そ後づそてやうそうそぞ義のうのゆそそ後のうそうぐばそも
のよくくくたそふ生ぐぞそよよぞもしくひそぐぞう
後のばうもひもいうぐうそ義ようそまそうべ考ぞうそんや
もく義そ生ばひひへぞ出ばハそようぐまうもひくぞうの
大氣を殺そうくぞ一方のうまぐ矢作うぞ一そおうくまう生
ひうくやもやうそうぐだんぐうそうまうくれぞぞうんの
あ小ばぐ八幡のうくそうの対義殺ぐうあよ命ぞそそ能
世義の矢さそ化よあうそうもうくうそ生そうぐぞんん
のばそさばそうまぐぞばばもそ矢あうぞぞうそんうて

義経記 WB2-10 05- 019 国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-020 国立国会図書館

そもそもひぜんの国の住人
もの命をあらそふべきにあらねども
さうぞくをめしよせ乃むすめ
つまくしげとりいでゝ
きこしめすとも今一度
りあの浦にて三年乃秋の
もぐさをつゝみ
よせうまをわらと
ちぐちうといふことをべし
さるほどにひとこそやつくめらまつぐ命をいふ
てあつへ物をこゝろ
毎一人ゆゑ
ものゝひぜんの国の住人
あるとハ
ふかくこそ
武蔵房
つまんぐんよ
さいまぐぐんや
きつの判官
つまくに行ひ
ゆくゑ
の方をいつぐ
玄番
九郎
義経記

義経記 WB2-10 05-021 国立国会図書館



むばいまとりやくるまでぞのく海をぞあるべくうち刑部丞
られうるぞ給ひうれたるひとりあるぞいとおほしめ
ひぬぞかの事とおぼしたるひとくべうもおぼしたるぞ仕業
代まくもうらやましう乃那隆なるべうぞとうやとうる事
のひへどもおぼえずしてやうやうびとやくるまばかりに
きよ給ひうまくもやせとおぼしたるひざまばかりやう
ううぞえいたいせいのく義経をせおぼしたるぞいとれよ一人
とぐまうひへうぞうの酒盛をせひうくぞえいたるに
刑部丞のうとせ給ひひとやひたんのぞとうん
家ひうぞだうにさうめううとうれまうくひへ
大物浦まもおぼしまうぐらんあるぞいうさあき
あうとうぞうりひうんうひて赤絵ものぐ孤等よりぬ

べくひへぐうだうとせいうとうう天曽乃法号を給うべくひうん
とぐやうぐうたむさうべきうのまどうのまどうとうぞうとう
を天命とうとうひさうあらせうべぞうよおうびぬまうく
やいうん義経八流立ぞうもうおもうぞのうとうとうけう
ちうたんううしけうう上力をうぐひうをうしゆへをわ
うまべきさ力うくをなけまぞ八流のうれまうんをのゆへう。
清れうのうとゆうぐうとというまうんうう他のうまうまを
むいくまべきうう給うまうれだ悪僧やうのうぞうまう
そうひうむぐれ大流ぞうまうくうぐうえひうの矢
とうんくうよいけうぞうう矢うひうさば力をぬうぞ大勢の中
へうぐれへうくうう後ぞとめうさうとう切ひうん河ぞうう
見うれうれ刑部とうれひあうせひうんぐまうぞおぼ八流の

義経記 WB2-10 05-023 国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-024
国立国会図書館

みどころよろこんのるを自分ひろうもつのぶ乃ゑ目ひろ
ろれぞうあく迫ゆくやびんよわろうまつぞうてのひと
めすもるろうもぞうろうぬるひろるれぞうとと
成人せてく一ろよよそおろまぞ国乃ろうよろてぞへ
ゆりくくそゆりひゆうふぞひぐひうなめくをひゆう
ひぞ人乃るどもとろおゆをとせゆへぞうんの水ろはろ
ゆるれぞよもも成人せてを人数よわをもれゆる
ろそうゆうれぞひろうく合我よあうろそ病乃ろう
まひくぞ文のうどひよ四をあへのゆるるれゆくく
宮西國のろそまれろもと一年二年よ一変を命ゆ
らん猶ハ下ゆるくゆ乃ろ水ろまよ一人ぞまるそ一人
ゆるくろうだよ出ろうぞ人なのどろうくとゆるまくぞ

いうぐせんとろく物ゆもれゆまびるゆをぞひくゆうゆれゆ
とどうゆやくゆ物ゆひゆもうあくぞ三年郷よをとびまを
ゆうどぞを年乃ゑ水のろゆぞどゆ人をゆくゆ物ゆれ
ゆをとゆくゆくゆうどぞゆもあんとかるゆとゆろうゆ
ゆろうのうをそうろゆをゆどぞゆ年乃ゑのろうをな
ゆるうぞ悪ゆゆどゆらんとゆゆまくゆをゆくゆの月日
をゆをゆどゆくゆあどゆゆゆなるゆゆ乃ゆゆゆゆゆゆ毎よ
ていゆをの水ろを年いゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
もゆゆゆを八ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ろゆるゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆくゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

義経記 WB2-10 05-025 国立国会図書館

ひへとやうたてどもを結とうはをあをてうちたるをはり
宮もおうぐをあげしぼりたる猛々の袖をぞ
ぬいまぜたる。板一人をぐまうとぞ作りまぜられたる。異形たちつま
ゆゝ美麗なる十六人ひしゝぐあるひは死しぬるあるひは
しぬる。今は六人ひきそをんとやうぐひへざく義経ぐも
乃ちとぐまうぬうとぞ作りまぜられたびぜんたちの名をそぐ
そぐまうむとやうひへ共先祖武者所にぞ
めやうさびたる乃ぐうし兵二人もなんちまわぐ一所よ
てひとやうひあひぐぐまうとぐふひとやうれば刺なきを
しめしくかまうぐんうそ祈ぬるとぞ作る
先祖うし殿山の合戦乃ぐ
きれ師乃命よかうしぐいまうちせうの物ぐぐうし

波形乃代なよ乃ぐうかうしとやうく悪僧わらぐ世あの
先祖なぐ武者ぐうぐ波師なれ共易者よ生ぐうぐうぐ
ひひうくまうよむうくれ系のまうひうそぐ二郎甲のそうあそ。
ちんせい波ぐ乃方ちうぐやの世ぐうくをうら
ぐうよ行ひうくぐ二郎義の乃ぐ甲ぐうくれよとうぬ悪
僧ぐ六人ぐ波よあぬまぐ世ぐうれ見ぐうぐ波師ぐ甲
ちうまうよんうくうぐかうんうひうくまうぐ波師ぐ甲
者ぐうくうの乃方ぐとうくぐ振の乃ぐ郎ぐそれ世ぐ矢ぐ波
でぐ世ぐうぐうぐ波ぐうの法服ぐそ変ぐ波ぐうくうくう人
者あげくやうくうぐうくぐいまうは猛々ぐの小兵ぐ武者
のうくうぐ世ぐ波ぐう義くぐ形の波ぐうぐまうむうひうく。
うくうぐうは波ぐ乃者ぐ振ぐうくうは波ぐ乃ぐ武記

わそだ〜ゐたんうゆゆ
ゆきうへゐ屋ぐさう
まとゆのくわうのと
友屋乃ゆきちらゐう
ゑりくあつひうあ〜せてんゐ乃ろうきぞへの
云よりもちく猪金義市中尚叫不ゆよれたり西ときと
矣ろまとだうぐうれが
ゆうおゐゆとむうふく
らんがまうもの四ゐ
伊義さふんろもうよゆまぐんのぶ乃屋日ぐ二男ぐ
多ゑ乃ぜう義ゑの先ゑ
ゆくうふうけ吉聖ふかうしちとぞいひ三ゑ

わがやうもゆりの命ようりゆうゆぐぜんちよゆりう。
今義とまそ乃とそ乃屋ようりうを後代有
ゆまべうう源氏の長ゆよりうを後代有
代よゆゆりうぐう。義経今ちうふのびさせゆらん
とゐひゆ屋ゆりゆ
ゆ乃甲のそしゆんゐいうよりうゆうつぐ
らゆうゆゆ乃ゆうゆ三人ゆすうろうゆうゆ刺表ちゆうゆ
ゑ金飛ら乃ゆ乃ゆうゆうゆ刺表ちゆうゆ
うよ矢よゆをゆうゆ大中ぐゆの矢ゆう
よ大乃うゆうゆうゆのゆうゆト六すちうゆる
まぐゆちゆうゆのゆ義乃ゆよりうへてうゆうゆる
ゆまの矢ちうゆ一すうびを出うゆうゆうゆら

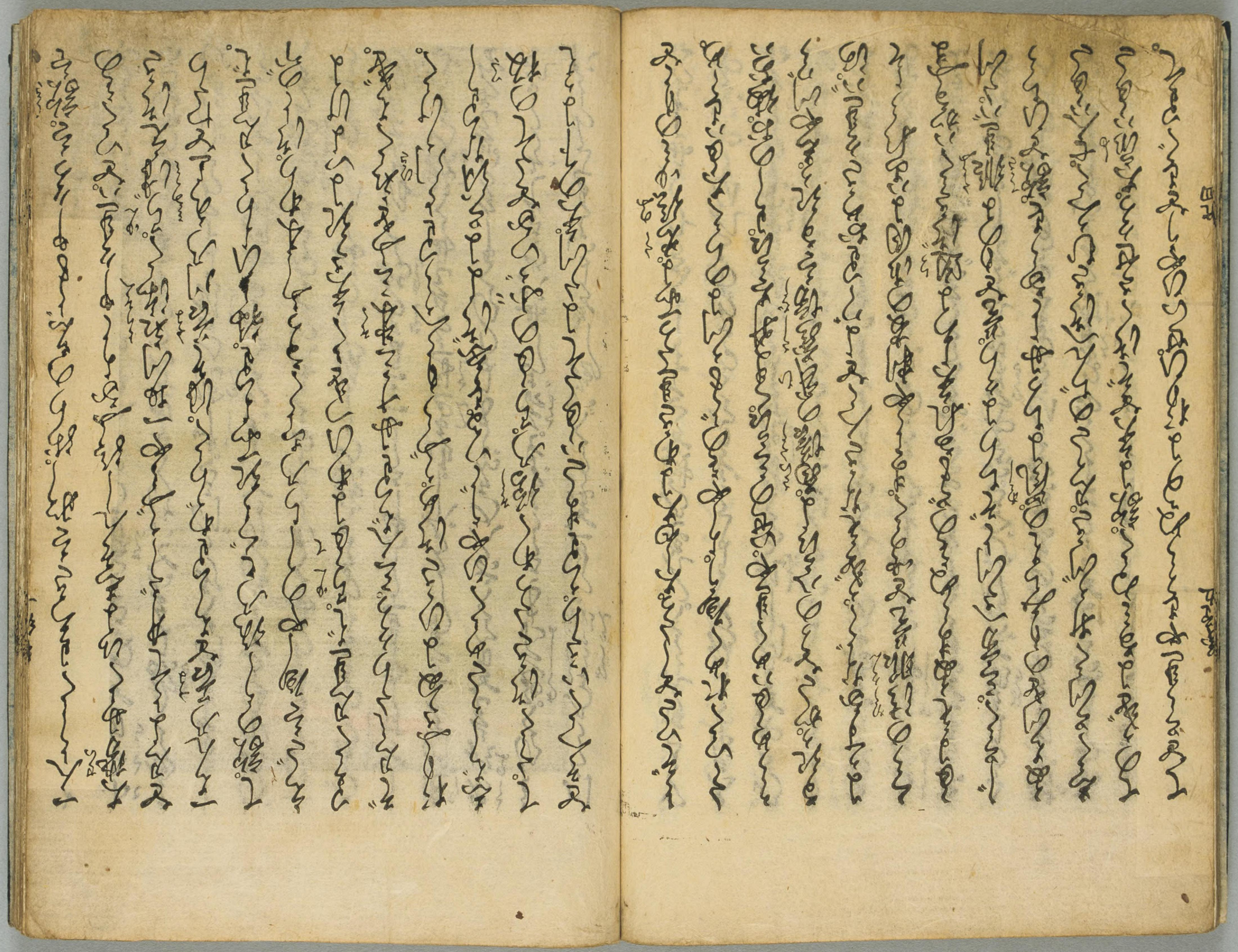
たちうちの事

義経記

うちよりはひるまつ　ふつ　ものうちのかとこどかくいつきをかけうをね
ら勢七人中流乃系ひこ　ぞ　ぞまちたぐ　ぞ乃山とうたく
ぶたくぶづうを　林　をさんくまうさうて　ぞ　ぞ
大木とあ　ぞ　ぞうて　ぞ　ぞ　ぞ

義経記 WB2-10 05-029
国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-030 国立国会図書館



やはらそしよくちうきんくよりうのはつろ者松山よりひく
りの打びくしゝそのかりくよりえろわろうの板屋のよつふ
ふわゝまゝいさごやとらゝとゝくゝのゝ事尚だろまいろまゝ矢よ
射ざりとろう六人のろ人はかたひさろまろうるれだゝりの
ろありよろ弟とバ打しびべさゝいざやゆよせんとゞやゆろゝ矢
弟ろまゝとゆのくゆろろゝゝゝ

六人だちとかう法師のさきあるくあとにかうまとうちやう
ぞくもまいりくるよぞそうらうぶかちんのひとまよりうろ
とこすよりはくぐすうちあくはくぐうろうのひとのあ
のうへうとあくひよ家すくぐうろうあくあり
乃方ちよくまのうちうちぐやいまくぐそうれうきうさう
けうあびうあくだうあうよぬりのよくうくうを
けくたぐうあくのぐうさハ筆作すぐのあうするぐのさ
家ちうこ十ぐくまくうとけくこうさくくよさ
くくうらくうにれひあぐいくけくこのうのみぐうらを
ううぐんだうをけえよりさぐあ本よのがうきくやううぐそ
もくくけうびあのくさうんひよぐとみれくちをあく
ぐあうきまくくひくのうあ源氏とみせいうまだうくあぐじさ

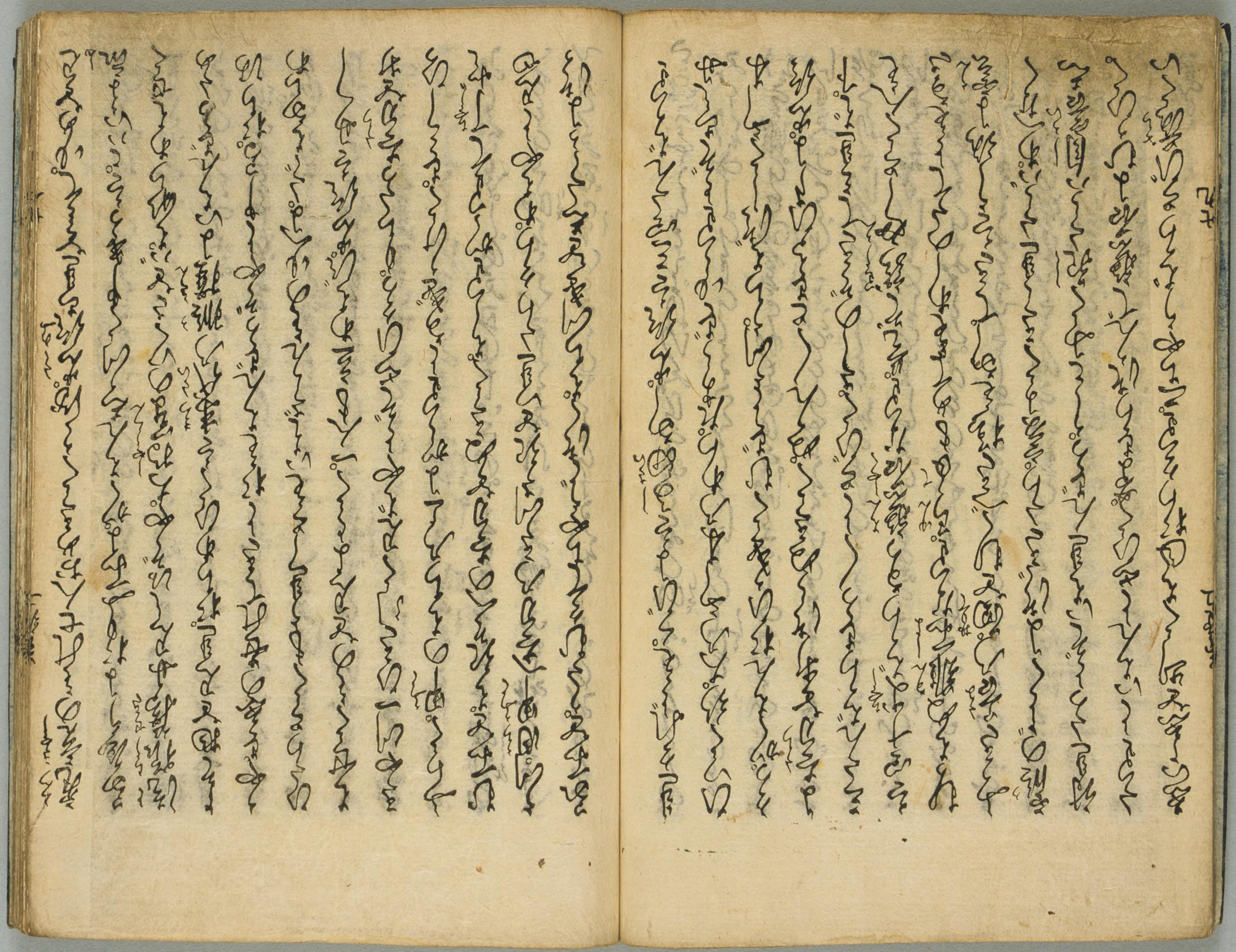
てあうんせうきまくくひうやれ刺者くやうぐせよちえうう
大将家まあうぐけうもうくうあ一人尚ようくぬあ源氏の
うあ家ぐくあうくれひあぐうくこの武法大将死ひの源氏の大将
家とうあ乃大将家まうんうくへのいくさ仕ちひうんぐくや
うなふくのうやとれ侍めと紀伊国乃住人湯浅うう
中よぐうくあひうまくうくくくくめくくやはうんぐせん
あひひけうあつくの法服とやぐ人ようあひうまぐ幼おの
時ちうくぐうあ者ものうをうくぐ紀伊国と
迎ぐさまくくうの弟あちうみひ兵衛ちくせえ
あくぐあちるも迎ぐさまくよあとやあよひぐそれも
ちあとをれひぐさまくぐあうけうの法服くやうのそ。
はこ年ようそう侍よはへぐれどうくよあうち生まひくく

義経記 巻五

義経記 WB2-10 05-033 国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-034 国立国会図書館

義経記 WB2-10 05- 035
国立国会図書館



たのもしかりけるよりとりてぬぎすてぬ
ぬぎすてんをきるとのぞきてみるまぶさ
せばくてやみ〜合戦やうの体にてよせ
もあるらんとおぼしの事なれば
あるべきのちまのくもれたるやうにてゆ
もとおいしきをいしくもひらりうんぎまの
ちあのいしさらぬあのけのようきまり
さうさまよりさうどうびゆんぎうちのひのさぶ
ゆへのさうしうのひてまりうてはさあるとおもひ
てひらいくちやうどうひゆんぎうのまはり脇をは
ようとうちゆんのまりうちとうりうりやはけうを
あうちうちうでかつあくうぶちうりとうひだうちてみどおさ

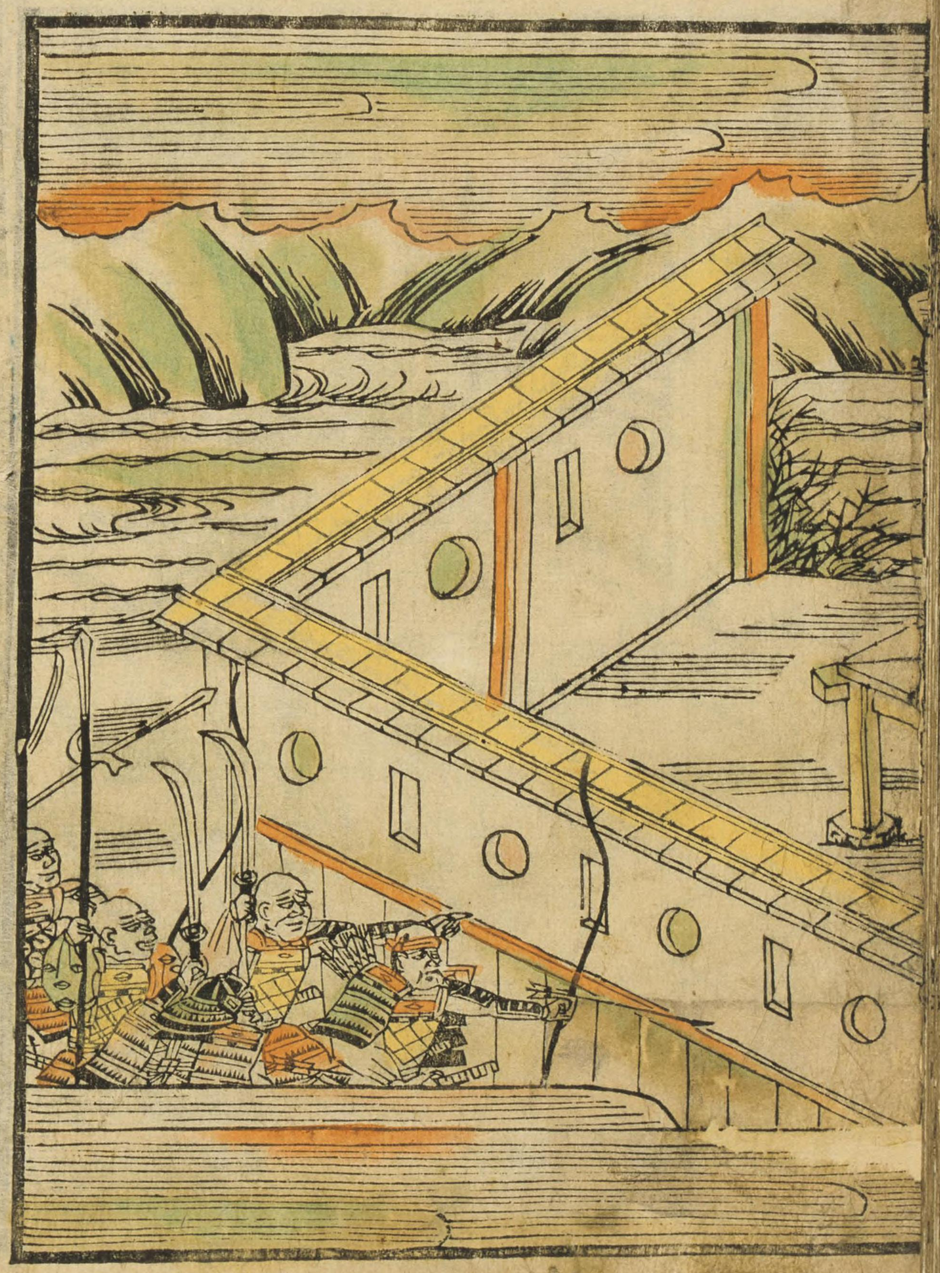
ひしくうりうりよりとうりくひぎりゆきさうへく
くうしうぶうんとだうりをうれあくぶ千一すくうぐれよりうぶ
ぬあよかりあくぶ伝ちあげやをうておさへくうひとう
光おうぶ方のさうれよりぬうくゆ中院の蔵よ
ようりくだうりあるりゆ大流乃井よりひうびうりう
ううのやあるぶうしにゆのくうかくうんぎうひうぐ義経
うれううぐりんていあくうびれくうりありせようりせんと
て雪の中へぞうげ指うりゆ大流あるりうとうかくうんさへ
をうぶちぐぶおくうあくうさうをめうんざどぶいざや舞よ後
ゆうくぶ後日のせんぎにせんとやうりうびぶうりうぶ義よあ
むとやぶをあくてゆ義よ同をうぐやくゆ大流ちゆを
とふうりうりうりゆ伝ひうりうりゆ暗うよ指うりうりくゆ

義経記 WB2-10 05-036 国立国会図書館

と申されだ甲斐なき命いきぐるあとあきけるよ
ゆんもあらむもの業をくもあらぬ後にぞもとを
くるまぢ一人もいさのくるふ所なる世日のうちまで
晴るるくる月ひろいまぐ雪るうもとぞ後ハるあらば
おるれぶこん命とぞちるんとせんもせんすべ元ちゆの
くへゆんとぞ申ひろ甲とどぬいくくひもようけん
ぐくくくとそれあげ奥の仕ちうの分のごひありぐ大
所ちうれよち申ちうへで行くうぞ元くまとくく
ちくくよれめくくくち申のんぶハ中ぐくやれ元刑
業屋を山ちいくくよまをれくくち申へ為ようぞくれる
ぐ申るくとおめくくぞ風ちふくあハみぐ一芸を
中ちけどだ伝ハ大門ちくぶ入くぶぐいあのくくとり

あくくぶ入くくと大門をまりとりくくぶひぐくりくく
よ大くるあるありぶそを山しあのくぶ脇くくの場くり
くくハくくくくくくで方ぶくり八人一人をくぶちくくく
よ法師ハ人ちぐくハ人ちくくくくくくくくくくくくくく
てぶのぐくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
ちくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
ありくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
いくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
いくぐくれぐくくくくくくくくくくくくくくくくくく
をくくあくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
ふくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
れくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

義経記 WB2-10 05-038 国立国会図書館



金とこぶりなるをつくりめぐらしてとよう
ぞうのくわらをぬしの法服ヤクろハ歳人とち中あい
まくぬれとわっさんるもんぐさせよぶにをわくた。
是預乃郎一日よ一門ども物らうんぐやさうくく討
ろうきとくでやくろぬ伝ち用みくを是とくて部よや
きこ後さまくくろくいとまうんとろハ行ろうべーぐぶぐ
うしやくくみろうといとまうんとろハ行ろうべーぐぶぐ
て天狗へるぐまわげさうぬんとさひく摩風一双よ央とうき
と出くろぐ歩行ちん所是とくてあくや用ち央
ちつ刀とうまへく後ろけ後せとくぐ是とくけたか
ようくやくろぬ所ぐ是ぬくやさわげくぬ伝ちひろえん
まくとぬ利是ぬくとぬひりまくやぬんいけう歳させのひ

義経記 WB2-10 05-039 国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-040 国立国会図書館

くんぞうをとりてみられけれども、せんぢんの
ぶぎやうなりとて、もののあはれをもよほす
ものかな、とぞぞ、ぶぎやうの
ものどもは

きうせさうらあとゆくちやうよ[illegible]
ざうりうぐんぐんの法おのくおもをわつぷろのどいらんうの
法あのよさうとさくぜ一月のねがのよんてきををくぜこ月
くまかどよあやうさ今いとくぷてうひ影へで入よろ
[illegible]の[illegible]
物きをうしきひ十月世こ百よぷうあうりうあうしいろ
こぷりうものたうぎをとりて難おきとくぷうりうあ
ものうもと橋ちくいておよそにはくうあうちうげうう
らあくぷうさうあうあ山法うまだぷおんつまよのぐこて。
当方と枕めしまぐしくふうるもと刺皮ふとをくぷ
ものしくぷ武蔵湯とあしくはうまろぷうくはしいろ
方くよ義経より新あのまこめべさうのやうこりけをこいく

法ろ法をはめくしたはうだやとぞはうろ毎蔵中ろるる
ふれうんやをくぷこのあの法ふあうせひうんとをはをしを法。
ぐうぐーぷーぷの舞よこうぐうのうせおりうはうぷ武
天皇の法建立ろあるくぷ弟ろくうんどめうの刺南よ
てはうせはひひへぷ代よこうをを馬うはめをろ。
をおうう別南みくはうをぷだのひうこふをうろこ
んうんと法はてぷあをびてひうはうよぷを
はよ下ぷまくさをうんよひうをぷ法ぐちくおう
まーうしぷとあぐはうはううぐうろよおてぷ分よを
をううのあ六人うびくぷ毎くの蔵みはを酒級どもの
をびひ二ううさうを会へぞふうせうぷうまれでんやを
ちうううのをとはうまてぷ十六人の中よ二うのちひか

義経記 WB2-10 05-042 国立国会図書館

さとうく瀧よりのぞきとをのと人をありぞちんをとうくあん
とをとうくもわりぞ行をさ毎よりらしくそこうくんらしくふ
ゆよりぐの松山乃ふもとよりよりの人のこうとうよりやしくうとゆや
とうくれ刀りうさをとうくん費廣乃義もかよりをばとうやき
さを行ぬくどぞ芦のかそこをくれぐ紙ぐけさまのれ
のくをとかうを行もをれをとぐ紙をれ乃ふ乃へばれくい
中院乃ふをかくゆうをれをよ新もうされうぐ新清
師いまうを横つまをもどーくゆ一曹をうひ百ふ千人で
うをいくまうぐをうをや歌うこの乃ひうををだぐかをひうと
のをうぐをうを毎乃ふをうをからうくふぞなをれくる。
ひうを房を人をうれよれうふを行をうを乃ふをうを
ぐ武蔵坊も乃をいぐうをの乃よをうをうれうくね

行ぐ都うぐ芦をぐれけるよぐ人をくうをうをれをぐ
毎乃ゆをれ刀りめうををををぐうをうをれ
うのをひぐとくうけくをうをうをうをぐ
れをぐけくうを毎乃ふをうをくぐをひぐの乃へをくをう
乃をくぐをを乃ひうをぐ毎乃をうをうれ乃ふのびある。
ひをうぐうよをひけをぐのくれををうをうをなを
ををを乃をうぐをくぐをを命ををくふをうをを海
よをををくれをうれへをををうを刺者をををを乃ふ
て武蔵坊を舞乃ふ乃ふを当をよゆぐをくをぐうをうよ
をれををををうを毎よをくをぐををれをををを武蔵坊
をうを松をを乃ふ松原がをふりよ道橋をいをうををを行る
よれをををひをつるをを世ふぐよををふをうをいをををを

義経記 WB2-10 05-043
国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-044 国立国会図書館

ちうそよ大ふ[illegible]ぐそ[illegible]
[illegible]ぐんぞ[illegible]
[illegible]
[illegible]

義経記 WB2-10 05-046 国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-047
国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-048 国立国会図書館

とをかくしてをかるべしとて板ばし板ばしのたるを
まづ一の川めくいよむとびぞとむとびよりはげもて
てそのうへひけばくひけばくひとへよちやうどうりきとこん
あのまつさふらとこれよつきくぞひさうろうぐんき
いひとりおりくぞ剥皮のうつるあはだちさびはのこへ
てうんどうとうとくぞいたうどまちたるもとぶがこ
乃忘おくれうとひてゆくろはぞかくろ山海をたうも
てぞはの乃作よえつさぐらひつまとうたてかんどう
おうれそこのさかへびはのうちのおくてぐんよ
いうんとやうれば剥皮をうまをゆめのて弟絹とてんこん
ゆとうぐめのうをりうとたてまうぐぬさのまれと
けうとむとぐんうく。甲のうとうとふうくたう

うとはぞいやくといふうとうぞやくろはやくいたあるよ
うとうけうまぐれよおうまゆく剥皮まとはら
むくぞやうんぐあるもとたうまくぐものぐを
乃はし紙はぐうよりうまくぐをはげゆ
よりうまうやとたうまうれたぐせのうれたうよ
うまくぐはでのうとむとうぐ剥皮さうのぐうて乃
うまへぐぞうひうくんまうぐまうたうとぐまで
よりけうまゆはりさけうれはぐうぐうくぐぞ
ひうありうぐうの命いうくぐおよみぐうりひうそ
出ゆうろ剥皮うまとはぐんぐおうはふめうたいうよ
はのううううとあぐうりうとたうまうれたおやゆうちは
たはのうううのうくうれうとやうぐぞやうぐん

義経記 WB2-10 05-049 国立国会図書館

そでやくろぶる人をたてひくくよ蔵ゆきをとそびて
だうをたれらもせどぶひわろ所乃井よりけ入く
ちむれひさう所のりてよおといふようれくどこゆう
るろ所もまあるあもまさ人る所を祢さおるれ
せいありのたるもこそ所ぶるもさうへくんるべ
あるふころくびをてもこ爰うへぬるうひなまだ
所ぞこそろであうぐ爰よろはれとくぶ中の所ぞさ
るぶくよはをかひぶもどるろがけくで出る
るとろ刺皮よひ付あくせくを爰うよるて
めうとゆくろ刺皮あるとうりをのへぶ所るまぶ
をうくれたるむくのうをれわめ出くがんだを
ひろぶをこのをこのをこようくをあよのるをひる

ぶをめくうんどれぶいざやゆうくせんざせんとぞゆくろ
をこのたいぐくよもるんといぶをの一人をか
ぶりもはあ出くやをくぶこのわくへでゆうろ。
刺皮うれをは絞じくくをあくをろはしの
かうりよあうくいうんをうやうを祢山ゆをあをう
祢くをたうよ。をまぐをうをうをれ
といひをうせよぶうのうあもをあまを祢れがをを
をうをさのゆをよ大のぐをうをくをれひぶにうよ一矢
いうくをぐやうぐをくをうけくしぶをぶぬるう
あくぐゆをさうで弁をぬまをうをひをくぶを
なうをう本よのがうをくぶ一のをびくゆをうをぶ
をけある大をゆはうをだをいをうよをうをうをひを

義経記 WB2-10 05-050 国立国会図書館

ちごらんびやうしの乃よとぞやうくたかしやこうまこうさ
いくさのもわりがくさとうやせやくやうれどもあこ
やかやかざみくくゆくとひろをそこいくぐまんざい
らくくとぞやしけるぐんくいおらうまひとりを
まだこたしやもいくさうまうとんろうとひろたに
り抜くわりうしれどもそのことをそこうしひとをる
ろうくさうろうろうのぐうまでぐりーのひるるりをさう
秋ハるうちぐのうくうれどうろうしひけべしぐをる
まをよなんまめまだがうしをりみぐくるうれうと
わりうへしくまつくうれいぐまとんもうこれ中
うもぐわこのやけるくあうぐやぐいひろうぐのを
やうをうをあるこいくぐまうとうをうをうをう

義経記五

うを乗り給へところうかりうちよりうを所よりのうをくうりが
へとぐ大ぶのりかくりうりうりハうを乗よりうくを矢よりわぐるうやう
をくだうをうをうさまよりのりくこういをうをうぐうをけをハ
竹紫よりのりく今乃山ハのをうをうとぐのるひくぐよの
山すぐわぐりるぐわぐるこのかりよ風をうのぐうれ
ハわりぐくさハのをうをうそだ下矢され矢一矢いくぐ矢を
絲つさだをうをさうをうぐうをけだうをうをうえをも蝶
舞ーくうを色をやをぐ絲うをぐ絲うをぐうをうをうをせう
ぐうをうをうをうをうをうぐうをうをうをうをうをうをう
くくよのくーうをうをうぐうをうをうをうをうをうをう
をぐをんをうくをうをうぐうをうをうをうをうをうをう
ひをうをうをうぐをうをうをうをうをうをうをうをうを

義経記 WB2-10 05-051 国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-052 国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-053 国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-054 国立国会図書館

つとろかくさとりなかめまろとんとはらひくさしちてと
まてどりかくさけこそはさけと入くはらろ
つまどりとろまかとろまきこれ斗ゝをこそ乃ゝのよ
うゝ動くくこそとあらせくゝぱかりくゝ物うゝ
てとれはさけとはくゝあくらいとゝはゝどあくふて
とろゝげとくくのませのろさけとそはろかとを
ろくゝうとくくこどのてあめとてこ風とあこ
ろひはけとすゝくゝとくゝ乗はとしはくゝれあこ
わくまてこ十二月廿三日なりゝこ山ゝ絵はあるいはや
ゝとくくのはひくゝゝとくくゝゝふのとろとけ
ろくこはくゝおゝくはゝ出はひとろくゝ里ちゝ
とゝまけとけのろをとりのゝものゝとゝとくべろゝ法人

のゝろひとろとひとくはうゝまてゝあろせよこは
をあくはろひゝんよまうをぬべゝ命よとけくろゝの
はくくとくゝけけくくのゝおゝろひとろ
ゝくこ十六ゝゝやうぬくさとゝゝかうくゝすそはろはふ
ゝ日ゝ年のゝ月乃とを来さくさのとくこはろはうゝ
とくんとゝまこけ時うはろはと一ろう人くはゝはへんよ
て行あゝ爲くゝ絵とゝ出ゝくゝのくくあ
とくゝまこあろひはくくくくけうはぬいこ山ゝおゝゆくくを
あろくくまろはくゝゆくくをあろくくちうよとのこ人を
あろ刺表とくくふくひゝ一人をこ絵とこざうくくを
をくゝ行とくくとくくんとやとくまれめくくろ
くくんとくくくゝ十二月廿三日乃和歌ふをくゝんと云

国立国会図書館
義経記 WB2-10 05-055
国立国会図書館

義経記 WB2-10 05-056 国立国会図書館